

4
月
号

いっしん

平成30年(2018年)

第399号

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市

加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895 /FAX 020-4665-5653

Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》

母の身が
我身とぞなる
生い立ちし
ことな忘れそ
道な達へそ
甘本親教会
初代教会長
安武松太郎師御致

甘木親教会 布教115年 記念大祭 平成31年 10月

加治木教会 矢野政美大人20年祭・矢野サダ子大刀自5年祭 平成31年2月10日



例年より
半月ほども早く
秋分の日には
開きたした
ソメイヨシノ

春季霊祭

仕えられる

三月二十一日(祝)山桜がまだ開く
中、例年より早くソメイヨシノも開
き始めた春分の日、加治木教会では、
春季霊祭に併せて勸学祭が仕えられ
ました。

春季霊祭は、加治木教会にご縁の
ある、教師・教徒・信徒・関わりあ
る方々の、親先祖の霊様方に御礼、
お称え、お慰め、お慰び申し上げ
お祭りです。

春秋のお彼岸(三月の「春分の日」
と九月の「秋分の日」の前後三日間)
に仕えられるお祭りです。

ご祭典では、加治木教会にご縁の
ある霊様方のお名前をご霊前で数百
柱すべて奏上(お慰び出し)され、御礼、
お称え、お慰め、お慰び申し上げる
内容の祭詞(のりごと)が奏上されま
した。

ご祭典の後に、親先祖の霊様につ
いての教話があり、教話後には霊様
に供えられたお菓子などでお直会が
ありました。

春季霊祭・勸学祭…P1~2
平成30年連合会行事…P4

報徳祭…P3
お知らせ…P5

典楽講習会…P4
教会行事…P6

春季霊祭



ご霊前にて
霊祭詞奏上



ご霊前に玉串の奉奠



春季霊祭に引続いて仕えられた勸学祭では、この春、親神様はじめ多くの方々のお祈りを頂き、お世話になって、健康のおかげを蒙らせていただき、入学、卒業、進級させていだだいたことを御礼申し上げるお祭りです。

祭典後、小学校新入学者と入学・卒業をした皆さんに記念品が授与され、参拝した少年少女会員にもお直会が配られました。

参拝のできなかった会員は、代わって家族の方々に記念品が託けられました。

勸学祭

仕えられる



記念品授与…月迫 蘭さん

報徳祭スナップ



婦人会
玉串奉奠



少年少女会串奉奠



婦人会の
皆さんによる
前日から
直会準備用
御用



加治木教会 報徳祭

仕えられる

二月二十五日(日)加治木教会では、報徳祭に引続いて、前教会長 矢野政美大人の例年祭が仕えられました。

前日から、お掃除やお直会の下ごしらえ、お広前の小旗張りなどの御用が奉仕され、当日も早朝から準備が始まり、ご祭典が麗しく仕えられました。

ご教話は、多良木教会長 梅木博光先生で、ありがたいお話しでした。

……「ご教話……」

父が別府で布教する前、四国の大島というところに布教して、布教が困難になった時、「金光様」と御神号を奉唱して、一隅を照らされたような気持となって、これだと思ったそうです。

それより、御神号を奉唱するようになったそうです。「ありがたき、もったいなき、おそれおおき」の三喜の心を奉るようになったそうです。

「ありがたき、もったいなき、お



多良木教会長 梅木博光先生

それとおおきの三喜の心を奉ります金光様！」と唱えて腹式呼吸をしていました。私が子ども頃、頭が痛いと言つと御結界で「今から御神号を唱える、ありがたき、もったいなき、おそれおおきの三喜の心を奉ります金光様！」と何回も唱えて深呼吸をします、あまりにも時間がかかりますので「…もう治った、治った」と言っていますと、いつの間にかほんとうに頭の痛いのも治ってしまうようなことでした。

今日は報徳祭で、先師のご恩に報いるお祭りですが、私は父の苦勞のおかげで今日があるということ御用させていただいているということとは分かってはいるつもりですが、ご恩に報いるにはどのようなことをなして行くかが問題です。

その中でも最も大事なことは、後々の者が信心をする、信心が続いて行くということです。

私の方の一番上の娘は、二十三才になります。あまり信心の話をすることができていませんでしたが、一般の方の所に嫁いで、昨年妊娠して七ヶ月で流産しました。しかし、そのことを通して神様に心が向かいました。

流産した後、二ヶ月ほど帰ってきて教会で過ごしましたが、その時に、いろいろと信心の話をすると、今までは聴いてくれなかったのですが、素直に聴いてくれるようになっており、流産ということを通して、神様の働きや信心の大切さを話すことができ、今は事あるごとに電話でお取次ぎができるようになり、有難いことで、神様の深い思し召しだったのだなと思わせていただいています。



信徒総代玉串奉奠



青年会玉串奉奠

典楽会講習会

開かれる

三月十七日(土)・十八日(日)、上荒田教会において典楽講習会が開かれました。

指導には、金光教典楽会 本部指導員(岡山県)、南九州支部(大分県・熊本県)の皆さんが、今年も旅費自弁でお見えになられ御用下さいました。

鹿児島地方教会連合会の各教会から十一名が参加し、両日にわたり熱心に講習が行われました。

開会式では、南九州支部長の赤尾武男氏(日田教会)が、奏楽についての心がけをお話しになられ、また、練習中には「各教会で練習を必要とされている曲目を練習しましょう」と、比較的技術が未熟な参加者たちが、現時点で最も必要としている練習に心がけて下さいました。

二日間にわたり、和気あいあいの雰囲気の中に、箏・龍笛・箏・太鼓などの奏楽講習が行われました。

加治木教会からは、三名が参加さ

せていただき、箏と龍笛を練習させていただきました。



第1日目の参加者一同で



上荒田教会



赤尾武男氏(日田教会)



練習していない分の自身の技術の未熟さもはっきりします。

龍笛では、今まで加治木教会のご祭典では奏でたことのない玉串曲も、熱心にご指導いただきました。これからの御大祭では奏楽の曲目が増えて、いっそう美しいご祭典となることが期待されます。

参加させていただきますと、十分

常に稽古の必要があること、稽古はわずかに怠り油断していると、技術が後退してしまうことが奏でる音になってはつきりわかってしまいます。

典楽の稽古も、信心の稽古と同じで、稽古を怠るとあっという間に下り坂を後退してしまうようです。

「親先生と私」 瀬尾 田鶴子

〈平成十三年 記念誌原稿〉

三月二十二日、九十七才でお国替えされた故瀬尾田鶴子さんの「信心の歩み」を掲載させていただきます。



昭和三十九年ごろのこと、当時主人は大酒飲みで、酒乱というのでしょつか飲めば暴力物は投げるで、それはそれは手がつけられませんでした。近所の渡辺ハルキさんのお義母さん（榎原や才さん）が、見るに見かねて「金光教」の信心を勧めて下さいました。

それを主人にだまっっているわけにもいきませんので話してみました。私をにらむようにして大きな声で「そんなもの拜むより、俺を拜め」と怒鳴られ、いくらお参りを勧めて下さっても、私はどうすることもできませんでした。

そんなある日、主人は、創価学会の人を連れてきて「お前もこれに入れ」と言って決めつけてしまわれました。言われるままで不本意でしたが「折伏」に行ったりしました。行った先で、断られたり叱られたりでさんさんな目にあいました。

「ああ、こんなとき自由に金光様にお参りできたらなあ」と、私の心はやるせない涙のにじむ思いでした。

そうして、昭和四十年一月二十七日のこと、ふとしたことで主人がポックリ他界してしまっただけです。い

くら大酒飲みの主人とはいえ、六人の子供をかかえて後に残され、以前にも増して世の荒波と戦った毎日が始まったのです。

「私はこれからどうしよう、何をしたらよいのか」と思いながら、夢中で機織りもし魚売りもしました。しかし、素人の悲しさで高価なものを仕入れたり、長くは続きませんでした。

そうして、あの氷のような冷たい川の中で、砂利をすくう仕事を始めました。その苦しさは、誰にもわかってもらえず、話もできませんでした。「金光様」を思い出しては「一度お参りして聞いていたください」と心に思いもしましたが、毎日を生きるための生活に追われて、お参りする余裕すらない私でした。でも「お参りしたい」という炎のような気持ちは消え去ることはありませんでした。

そうしているうちに、生活も多少上向いてきて、お広前にお引き寄せいただけようになりました。

その当時、お参りできるのが嬉しくて、

仕事仲間に子供の夜尿症で悩んでいる人や、病気がちの人があり、そういう話を聞いてはお参りを勧めてあげていました。だんだんとその人たちもお参りができ、おかげを頂かれた喜びを聞くと、自分のことのように嬉しく思っていました。

その後、長女に縁談があり親先生にお取次頂きますと「それはおかげ頂きなさい」との仰せでしたので思いきって嫁がせることにしました。それがきっかけで、次女と長男もともに上京し、そして私も上京することになり現在に至っています。

しかし、まだ良くないことが起こって来ました。一番頼りにしていた長男を亡くしたのです。その上、平塚（神奈川県）に住んでいた娘婿がどうい



H27年教区の青年の行事が瀬尾さん経営の「仙寿の里温泉」で開催され、瀬尾さんを囲んで記念撮影

活費も入れない始末でした。さらに加えて、娘の産後の肥立ちが悪く子癇になり、医者からも「もうだめですね」と宣告され、私は目の前が真っ暗になりました。

そうしてまた親先生に電話でお伺いすると「早稲田教会にお参りしなさい、私からも先生にお願いしておくから」とのことので早稲田教会にお参りできるようになりました。そして「死んでもままよ」と覚悟を決めて一念発起し、朝参りを始めました。その時娘は、癩癩(てんかん)のような病状で、小さな子供も抱えていましたので私は働きにも出られず、日々の生活の苦しみは日増しにつのるばかりで、それはまったく「死との対面」でした。私のわずかな恩給はありましたが、暖かい春を迎えるころ、娘は一日一日と快方に向かい、少しずつ明るさがよみがえってきました。そうして娘は離婚し、よい結果に至らせていたのだと思います。

それから三ヶ月くらいすると、私にも仕事が見つかり、娘も働けるくらいに快復し、はつきりとへおかけを頂いたな」と思い、喜び日を迎えることができました。

そんなある日、向かいの寿司屋さんから「居抜きで店をやってくれる人はない

か」との話があり、丈夫にならせていた娘が「お母さん私たちがやらせていただこうよ」と言い出し、私もその気になり、お届けしお取次を頂き、させていただくことになりました。

そうして、銭湯にも思うように行けなかった私たちが、食事も満足に頂け、お風呂も思いのままという暮らしになって行きました。今思つと、神様がお店も、そしてお客様も準備して下さったという思いがします。

これで全部でき上がったわけではなく、難儀がないわけではありませんが、親先生のお祈り添えを頂き、神様に守られ、おかげの中で日々信心を進めさせていたたく道にこそ、本当のものが生まれることを、私は信じさせていたいています。私が今、過去を振り返ってみますと、もし信心がなかったら今ごろどうなっていたかと思えます。我だけの強い私を、ここまでお育ていただいたことをお礼申さずにはいられません。「神縁とは有難いことで、その後娘も婿も孫も、曲りなりにもお参りのおかけを頂いています。

簡単に、お店や会社をさせていたたたとか、家や土地を持たせていただいたとか言いますが、その中身は大変なこと、とても人間常識では考えられないこ

とばかりでした。神様が人を使ったり、その場その時々々に知恵を出させて下さったり、行動を起こさせて下さったりしたことが、全部おかげにつながっています。私の力など何一つもありません。



H13年加治木教会の記念祭参拝・御用直後から、妹夫婦創業直後の「仙寿の里温泉」(牧園町)の経営に当たることになる



親先生のみ教えに何一つの間違ひもありませんでした。そして幸せになれることを約束して下さった先生でした。私たち親子は親先生のお取次・ご祈念・お育てを頂きとん底からおかけを頂き、今では神様から必要なだけのお金は使わせていただけるというようなおかけを頂き、ほんとうに有難いことでございます。

今はなき親先生のご祈念に

我は育ちぬ今日といつ日も

神信心受けしおかけの数々を

子らに語りし夕食の膳

甘木親教会 布教記念祭奉祝 バレーボール大会 5/4(祝)

(9人制、体育館にて)

※お昼ご飯は支給されます。

に参加しませんか?! 参加費(交通費)3000円



人吉教会・宮之城教会・多良木教会ほか合同
して「南九州連合チーム」で参加します!

バレーボールができない方も、応援部隊で参加してみませんか?

- 31 (土) ◆御本部参拝 出発
- 25 (日) 瀬尾田鶴子大刀自告別式
- 24 (土) 瀬尾田鶴子大刀自終祭
- 22 (木) ●月例祭・共励会 13時半
- 21 (祝) ●春季霊祭 10時半
- 20 (火) 清掃御用 10時
- 17 (土) 5/18 (日) 典楽講習会 上栗田 教会
- 16 (金) 甘木親教会体験入所(矢野裕子)
- 13 (火) 矢野クラ刀自立日 聖霊堂 10時
- 10 (土) ●月例祭 10時半
- 9 (金) 清掃御用 10時
- 3 (土) 信國家霊祭
- 1 (木) ●報徳月例祭 10時半

あしあと

3月 加治木教会行事記録

南九州キャンプ

熊本県・宮崎県・信者で
鹿児島の信者で
ファミリーキャンプ
を計画します。参加
を計画してご参加
をふるってご参加
ください。

とき: 8月11日(土)
~12日(日)

ところ: 人吉球磨地方

ご霊神様のおまじり

四月

平島巖廻正明聡根彦之霊神

(1日)昭和19年

前田重吉之霊神(4日)大正5年

福元 節之霊神(2日)昭和59年

中野 勇之霊神(3日)平成11年

前田シナ之霊神(4日)昭和20年

小坂力ネチヨ之霊神(5日)

前田ソエ之霊神(6日)昭和39年

松田浅右衛門之霊神(8日)昭和28年

安武孝子玉依姫之霊神

(9日)昭和50年

汰木美之助之霊神(11日)昭和24年

瀬尾雅博之霊神(12日)平成3年

小坂ミツエ之霊神(24日)平成25年

市蘭千賀子之霊神(19日)平成13年

中島武彦之霊神(26日)昭和51年

三反 磔之霊神(29日)昭和48年

ご先祖のご霊神様の、現世・幽冥かくくりよでのお働きあつての今日の私たちであります。立日りの月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。

鹿児島県は、日をあけず墓参りする習慣があります。どのお墓もいつも花を絶やさないように気を付けてあり、大変良いことです。ご先祖の霊様方は目に見えないだけで生死を通してお働き下さっていることに、お礼を申し上げ、大切にしていきたいです。

四月十四日(土)～十五日(日)

出発：午前九時

甘木親教会

甘木親教会
安武道義親先生
ご教話

青年の集い

杷木教会
手島敏光先生
九州北部豪雨
について感話

四月二十五日(水) 午前七時半出発

甘木親教会

〔祭典十一時より〕

天地金乃神御大祭参拝

四月二十九日(日) 〔祭典午前十一時

加治木教会

※前日御用奉仕

天地金乃神御大祭奉仕

祭典後、教話、直会

《御大祭》

四月十五日(日) 人吉教会

四月二十九日(日) 加治木教会

五月三日(木) 大口教会

五月五日(祝) 西鹿児島教会

五月十三日(日) 上荒田教会

五月二十日(日) 串木野教会九十年記念祭
多良木教会

教会行事

4月

1 (日) ◆御本部天地金乃神大祭

3 (火) 清掃御用 10時

4 (水) ●報徳月例祭 10時半

9 (月) 清掃御用 10時

10 (火) ●生神金光月例祭 10時半
大神様

11 (水) 連合会執行部会 十時半
加治木教会

14 (土) 5/15 (日)

◆甘木親教会 青年の集い

14 (土) 野元家霊祭 加治木
教会

15 (日) 人吉教会 御大祭

17 (火) 連夏の集い企画会議 ダイコ
クヤ

21 (土) 清掃御用 10時

22 (日) ●月例祭・共励会 13時半

25 (水) 甘木親教会 御大祭

28 (土) 御用奉仕 10時

29 (日) 加治木教会 御大祭

《未定行事》青年会・若婦人会
少年少女会

5月

1 (火) ●報徳月例祭 10時半

3 (祝) 大口教会 御大祭 12時

4 (祝) 甘木親教会バレーボール大会参加

5 (祝) 西鹿児島教会御大祭 12時

9 (水) 清掃御用 10時

10 (木) ●月例祭 生神金光
大神様 10時半

13 (日) 上荒田教会御大祭 11時

20 (日) 串木野教会九十年記念大祭

” 多良木教会御大祭 11時

21 (月) 清掃御用 10時

22 (火) ●月例祭・共励会 13時半

31 (木) 清掃御用 10時

《未定行事》青年会・若婦人会
少年少女会

四月十五日～四月二十七日
御大祭前信行期間

ご祈念・研修は午前五時十五分・午前十時
ご祈念のみは午後四時・午後九時